

舶工727号
令和5年3月20日

会 員 各 位

一般社団法人 日本舶用工業会
専務理事 安藤 昇
(公 印 省 略)

SEA JAPAN 2024 展示会 「メンバーズゾーン」への出展募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、当会の事業運営につきましては格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先日、標記展示会が下記の通り開催されることが発表されましたが、当会では従来同様にジャパンパビリオンを形成して参加する予定です。

つきましては、添付資料をご高覧の上、ジャパンパビリオンへの出展を希望される場合は、申込書に必要事項をご記入の上、来る**6月30日(金)**までに下記担当者宛にお申込いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、ジャパンパビリオンでは、本メンバーズゾーンとは別に、日本の海事クラスターによる最先端の技術・研究成果等を紹介する「テーマゾーン」も従来同様に設置します。後日、別途ご案内いたしますので、併せて出展をご検討いただければ幸いです。

敬 具

記

[出展募集展示会]

「SEA JAPAN 2024 展示会」

開催期間：2024年4月10日（水）～4月12日（金）

開催場所：東京都 江東区

会 場：東京ビッグサイト 東1～3ホール（東京国際展示場）/Tokyo Big Sight

[添付資料]

1. SEA JAPAN 2024 メンバーズゾーン出展案内及び出展規程
2. SEA JAPAN 2024 メンバーズゾーン出展申込(確認)書
3. SEA JAPAN 2024 東京ビッグサイトレイアウト図
4. SEA JAPAN 2022 結果報告書

[申込書の送付先及び問い合わせ先]

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル5F

一般社団法人日本舶用工業会

担 当：山内 湧登、中島 大輔

電 話：山内(080-4080-8174), 中島(080-4142-2631)

E-mail：yamauchi.yuto@jsmea.or.jp , nakajima@jsmea.or.jp

以 上



日本における国際海事展

SEA JAPAN 2024 展示会

International Maritime Exhibition & Conference

メンバーズゾーン
出展案内 及び 出展規程

開催期間 : 2024年4月10日(水) ~ 12日(金)
会場 : 東京ビッグサイト 東1~3ホール

一般社団法人 日本船用工業会



Japan Ship Machinery and Equipment Association

【はじめに】

1994年の第1回開催以来、西暦偶数年に開催されている本展示会は、今回で第15回目となり、日本で開催される国際海事専門展示会として国内外に定着しています。

当会は前回までと同様に、今回も本展示会を後援し、日本の船用工業と船用工業製品の優秀性を広くPRすることを目的とし、本展示会にジャパンパビリオンとして参加いたします。

ジャパンパビリオンではナショナルパビリオンとしての一体感、スケールメリットを活かし、ジャパブランドを効果的にアピールすることが出来ます。また、日本の海事クラスターが集結するテーマゾーンを設置し、日本の海事分野の総合力をアピールいたします。

ジャパンパビリオンは展示会場の中央に位置しており、要人、船主、学生など多数の来場者実績があり、会場内でも随一の集客を誇ります。加えて、ジャパンパビリオンから参加いただきますと、ジャパンパビリオン内の商談スペース、バーカウンターなど共有部の利用、ジャパンパビリオン内でのプレゼンテーション実施、学生イベントなど当会主催のイベントに参加いただくことが出来ます。

本展示会に参加することにより、国内外の海事関係者に最新情報を伝えるとともに、意見交換を行える等、出展各社のPRにつながるまたとない機会ですので、是非とも出展をご検討いただきますようご案内申し上げます。

【展示会概要】

1. 名 称 : SEA JAPAN 2024
2. 開催期間 : 2024年4月10日(水) ~ 12日(金)
3. 開催場所 : 東京都 江東区
4. 会 場 : 東京ビッグサイト 東1~3ホール
5. 会場総面積 : 約24,300㎡
6. 主 催 : インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社
7. 後援(予定) : 国土交通省、(一社)日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、(一社)日本造船工業会、(一社)日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、(一社)日本海運集会所、(一社)日本旅客船協会、(一社)日本長距離フェリー協会、日本貿易振興機構(ジェトロ)、(一社)日本船用工業会

【当会の参加概要】

1. 参加機関 : 一般社団法人 日本船用工業会
2. 参加面積 : 約3,000㎡
3. 出展形態 : ジャパンパビリオン内に、会員企業を取りまとめたメンバーズゾーンを設け、日本の船用工業を代表するスタンドとして出展します。

【Aタイプ(基礎装飾付小間) 募集要領】

1. 募集面積 : 約7.2小間分
2. 出展申込面積 : 1小間(9㎡)を最小単位とし、追加申込は1小間(9㎡)単位とします。
3. 事業分担金(以下、出展料とする。) : 1小間(9㎡)で 795,000円 / 消費税込
4. 出展料に含まれる経費 : 出展規程の項をご覧ください。

【Bタイプ(スペース) 募集要領】

1. 募集面積 : 約7.2小間分
2. 出展申込面積 : 1小間(9㎡)を最小単位とし、追加申込は1小間(9㎡)単位とします。
3. 事業分担金(以下、出展料とする。) : 1小間(9㎡)で 678,000円 / 消費税込
4. 出展料に含まれる経費 : 出展規程の項をご覧ください。

[出展規程]

1. 出展料に含まれる経費：

- (1) Aタイプ（基礎装飾付小間）の場合
 - ① スペース料
 - ② スタンドに掲出するジャパンパビリオン統一シンボルマークの製作・掲出費
 - ③ 共通使用の通信設備工事費及び使用料
 - ④ 出展スペース内の床清掃及びゴミ処理費用
 - ⑤ ジャパンパビリオン共有商談スペース使用料及び共有商談スペースで提供する飲食経費
 - ⑥ ジャパンパビリオン共有商談スペースにおけるレセプションist経費
 - ⑦ 当会が製作する基本デザインに係る装飾経費
 - ⑧ 1kWまでの電気幹線工事費・電気使用料
 - ⑨ スタンドの設営及び解体等の復旧工事に係る経費
- (2) Bタイプ（スペース）の場合
 - ① スペース料
 - ② スタンドに掲出するジャパンパビリオン統一シンボルマークの製作・掲出費
 - ③ 共通使用の通信設備工事費及び使用料
 - ④ 出展スペース内の床清掃及びゴミ処理費用
 - ⑤ ジャパンパビリオン共有商談スペース使用料及び共有商談スペースで提供する飲食経費
 - ⑥ ジャパンパビリオン共有商談スペースにおけるレセプションist経費

2. 出展料に含まれない（出展者負担）経費の例：

- (1) 出展者貨物の輸送費及び付帯経費
- (2) 輸送中及び会期中の事故に対する損害等の保険料
- (3) 出展物の据付、撤去及び空き箱等の保管に係る経費
- (4) 出展者が独自に発注する装飾物の製作、設営、撤去等に係る経費及び什器備品のレンタル費
- (5) 出展者が独自に雇用するレセプションist及び通訳等の経費
- (6) 出展規程第1項に記載されていない一切の経費

[デザイン及び配置（レイアウト）]

1. Aタイプ（基礎装飾付小間）のデザイン及びメンバーズゾーンの配置（レイアウト）は、当会指定の複数業者に依頼して案を作成した上で、全てのメンバーズゾーン出展者の投票により業者を決定します。
2. メンバーズゾーンの配置（レイアウト）は、各出展者の申込面積や出展物等を考慮した上で決定します。但し、同一タイプ・面積の申込が複数となった場合は、抽選により決定します。

[展示装飾]

1. 出展者が独自に発注する装飾物等を含めた出展物の図面及び資料等の詳細は、所定の期日までに当会に提出していただきます。
2. 出展物の展示方法は、所定の期日までに当会と協議の上で企画してください。
3. 当会の承諾を得ずに持ち込んだ出展物等で、全体の統一と調和を阻害したり、他の出展者に迷惑を及ぼしたりする可能性があるものと判断されるものがある場合、出展者の責任において撤去を指示する場合があります。

[申込方法]

別添の**出展申込(確認)書**を下記送付先まで郵送してください。

Aタイプ、Bタイプ共に先着順とし、締切日以前に募集予定規模に達した場合その時点で受付を終了しますので、あらかじめご了承ください。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル5F 一般社団法人日本船用工業会 担 当：山内 湧登、中島 大輔 電 話：山内(080-4080-8174), 中島(080-4142-2631) E-mail：yamauchi.yuto@jsmea.or.jp , nakajima@jsmea.or.jp

[申込締切日]

令和5年6月30日(金) 必着

* 締切日以前であっても、募集予定規模に達した時点で受付を終了します。

[キャンセルポリシー]

1. 出展者都合によるキャンセルの場合
「出展者会議」の開催前：キャンセル料は発生しません。
「出展者会議」の開催後：**出展料全額**をご負担いただきます。
なお、「出展者会議」は令和5年9月中旬頃の実施を予定しております。
2. 主催者都合によるキャンセルの場合
展示会の中止・延期に伴うキャンセルの場合、中止・延期の時期に応じて生じる経費（主催者への出展料やパビリオン施工費等）をご負担いただきます。キャンセル時に発生する詳細な費用等は、適宜当会よりご連絡します。

[その他]

1. **申込後の内容変更（タイプの変更、小間数の変更等）は、如何なる理由があっても受付できませんのでご注意ください。**
2. 本「出展案内及び出展規程」に記載されていない事項については、別途協議により決定します。

以上

SEA JAPAN 2024

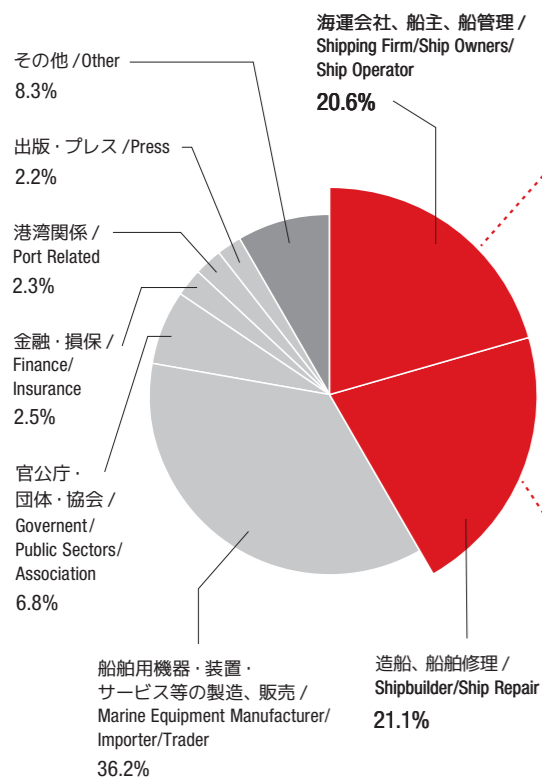
Layout



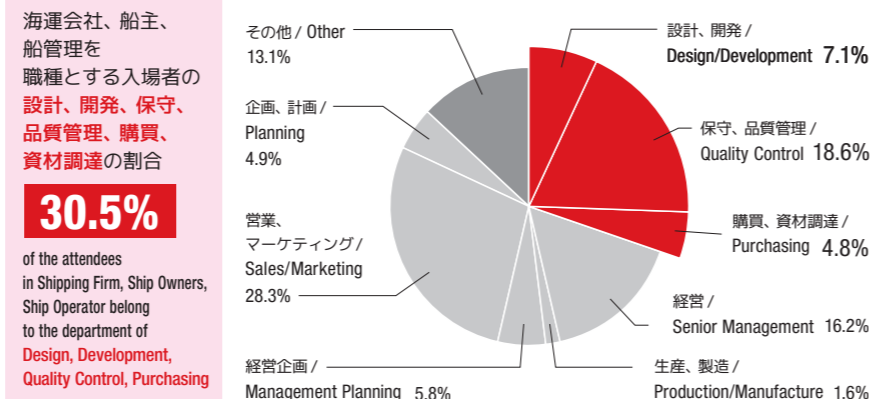
...上部サインタワー・低天井のため高さ制限あり
(H2,700以下の造作は建てられます。)

業種 Primary Business

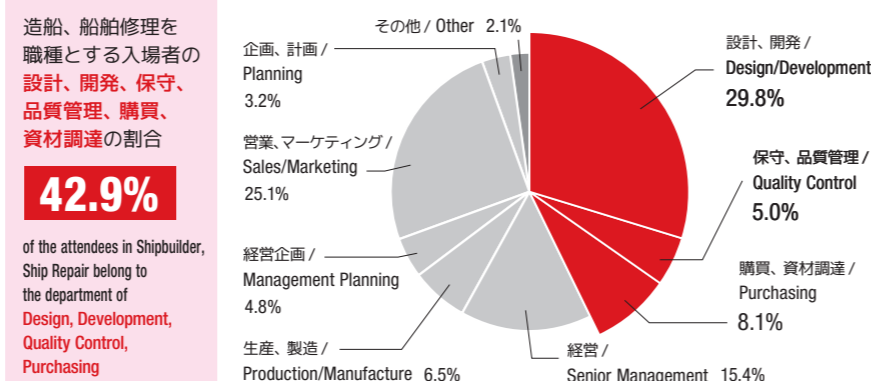
全体入場者の造船、船舶修理、海運会社、船主、船管理の割合
 41.7% of total attendees follow the business of Shipbuilder, Ship Repair, Shipping Firm, Ship Owners, Ship Operator



海運会社、船主、船管理の職種比率 / Department is Shipping Firm, Ship Owners, Ship Operator

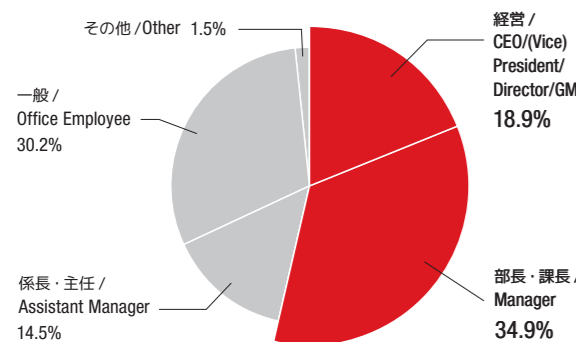


造船、船舶修理の職種比率 / Department is Shipbuilder/Ship Repair



役職 Position

全体入場者の課長以上の役職の割合
 53.8% of total attendees are Managers and above



関心のあるサービス Which product/service are you looking for?



SEA JAPAN

INTERNATIONAL MARITIME EXHIBITION AND CONFERENCE

www.seajapan.ne.jp

2022年
 4月20日(水)~22日(金)
 東京ビッグサイト
 東5・6ホール

Sea Japan 2022

結果報告書

FACTS & FIGURES



Sea Japan 2022 FACTS & FIGURES

Sea Japan 2022 結果報告 Message from the Organisers

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大でやむなく開催中止となり、今回は4年ぶりの Sea Japan の開催となりました。

いまだに終息の見えないコロナ禍にも関わらず、出展企業・団体の皆様、国土交通省・日本財団をはじめとした後援団体の皆様、プレス関係者の方々の協力のもと、盛況裏に閉幕することができましたことを心より感謝申し上げます。今回は「ゼロとデジタルの世界へ」をテーマに、関連製品・サービス・技術の展示だけでなく、セミナーを通じた情報発信も行い、今、日本の海事産業で起きていることや今後の課題、そしてその課題をクリアするためのヒントを得る機会をご提供できたと確信しております。

またオンラインプラットフォームを導入し、ウェビナー配信やマッチメイキングサービスなど、さらに充実した Sea Japan となりました。

今後も日本の海事産業の発展に貢献し、また新たなビジネスチャンスを創造できる場として、Sea Japan が担う役割を果たせるよう邁進してまいります。

皆様からの引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

次回の Sea Japan 2024 また 2023年5月25日～27日に今治市で開催されるバリシップ2023にて、再度皆様とお会いできることを、主催者一同楽しみにしております。

2日目は、国際会議を開催。日本を代表する海運、金融、船級協会、造船のトップが、環境経営の方向性や技術テーマの対応、事業戦略などについて意見を交わしました。

■ 国際会議 登壇者

川崎汽船株式会社 代表取締役社長 明珍 幸一氏
川崎重工株式会社
常務執行役員エネルギーソリューション&マリンカンパニー
バイスプレジデント兼船舶海洋ディビジョン長 今村 圭吾氏
ジャパン マリンユナイテッド株式会社 代表取締役社長 千葉 光太郎氏
三井E&S造船株式会社 代表取締役社長 船津 勇氏
三菱造船株式会社 代表取締役 北村 徹氏
一般財団法人日本船舶技術研究協会 会長 田中 誠一氏
アンカー・シップ・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 篠田 哲郎氏
株式会社商船三井 取締役専務執行役員 エネルギー営業本部長 松坂 顕太氏
一般財団法人日本海事協会 会長 坂下 広朗氏
日本郵船株式会社 専務執行役員 経営企画本部長 曾我 貴也氏

This year's Sea Japan was the first to be held in four years due to the cancellation of the 2020 event following the outbreak of the Covid-19 infection.

We would like to thank everyone who contributed to the great success of Sea Japan 2022, in particular to all our sponsors and exhibiting companies. We sincerely hope that Sea Japan helped you to achieve your objectives.

The theme of Sea Japan 2022 was "Towards the Era of Digital and Zero". This theme was reflected in the focus of many of the exhibited related products, services, and technologies, as well as the conference sessions and seminars. We are confident that the focus of this year's exhibition provided the opportunity for industry professionals to gain fresh insight into how to meet upcoming challenges.

As well as the physical exhibition, this year we introduced an online platform, and Sea Japan has become even more fulfilling with webinar distribution and matchmaking services.

We will continue to strive to ensure that Sea Japan fulfills its role as a platform to assist the development of Japan's maritime industry and create new business opportunities.

We look forward to your continued support.

The next edition of Sea Japan will be held in 2024. Before then, we hope to see you again at Imabari Maritime Fair "Bari-Ship", which will be held 25-27 May 2023 in Japan's biggest maritime city, Imabari.

Sea Japan's international conference was held on the second day of the exhibition. Leaders from Japan's foremost shipping, finance, associations of ship classification and shipbuilding companies exchanged opinions on the environmental challenges, technical developments, and business strategies facing the industry.

■ Speaker list

Mr. Yukikazu Myochin, President & CEO, Kawasaki Kisen Kaisha, Ltd. ("K" LINE)
Mr. Keigo Imamura, Managing Executive Officer, Vice President, Energy Solution & Marine Engineering Company General Manager, Ship & Offshore Structure Business Division, Kawasaki Heavy Industries, Ltd.
Mr. Kotaro Chiba, President & CEO, Japan Marine United Inc.
Mr. Isamu Funatsu, President & CEO, Mitsui E&S Shipbuilding Co., Ltd.
Mr. Toru Kitamura, President & CEO, Mitsubishi Shipbuilding Co., Ltd.
Mr. Seiichi Tanaka, Chairman, Japan Ship Technology Research Association
Mr. Tetsuro Shinoda, President, Anchor Ship Partners Co., Ltd.
Mr. Kenta Matsuzaka, Director, Senior Managing Executive Officer, Director General, Headquarters of Energy Business, Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.
Mr. Hiroaki Sakashita, President & CEO, ClassNK
Mr. Takaya Soga, Senior Managing Executive Officer, Chief Executive of Management Planning Headquarters, Nippon Yusen Kabushiki Kaisha (NYK Line)



開催概要 Overveiw

名称 Sea Japan 2022
会期 リアル展示会：2022年4月20日(水)～22日(金)
オンライン展示会：2022年3月28日(月)～4月28日(金)

開催セミナー

- ・無人運航船プロジェクト：4月20日(国際会議棟)
- ・国際会議：4月21日(国際会議棟)
- ・日本海事協会セミナー：4月20日(展示ホール内セミナールーム)
- ・パナマ海事庁セミナー：4月20日(展示ホール内セミナールーム)
- ・海上技術安全研究所セミナー：4月21日(展示ホール内セミナールーム)
- ・海運集会所セミナー：4月20日(展示ホール内セミナールーム)
- ・船舶海洋技術セミナー：4月22日(展示ホール内セミナールーム)
- ・日本海事新聞 SDGs セミナー：4月20日(展示ホール内イベントステージ)
- ・海洋開発セミナー：4月20日(展示ホール内イベントステージ)
- ・Sea Japan 2022 女性討論会：4月21日(展示ホール内イベントステージ)
- ・プライベートセミナー：4月22日(展示ホール内イベントステージ)
- ・人材開発セミナー：4月22日(展示ホール内イベントステージ)
- ・ノルウェー大使館セミナー：4月21日(展示ホール内セミナールーム)
- ・出展社プレゼンテーション：4月20日～22日
(出展社プレゼンテーション会場 A/B)
- ・出展社事前プレゼンテーション：4月4日～8日(オンライン)

会場 東京ビッグサイト 東5・6ホール

主催 インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社

特別協力 日本財団

後援 国土交通省、(一社)日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、(一社)日本造船工業会、(一社)日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、(一社)日本海運集会所、(一社)日本船用工業会、(一社)日本旅客船協会、(一社)日本長距離フェリー協会、日本貿易振興機構(ジェトロ)

開催実績 Exhibition

入場者数

1日目	5,518名	3日間合計
2日目	6,365名	18,183名(前回実績：20,226名)
3日目	6,300名	

出展社数 350社(国内：308社、海外：42社)

出展国 日本、中国、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オランダ、韓国、キプロス、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド

世界初の無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」実証実験の成果報告会
オンライン配信聴講者 661名(18か国・地域)

出展社詳細ページ(3月28日(月)～4月28日(木))

閲覧数 71,486

会期前・後ウェビナー配信結果

セミナー数 11本 **視聴者数** 742名

Title Sea Japan 2022
Dates Real Exhibition : 20-22 April 2022
Online Exhibition : 28 March - 28 April 2022

Seminar / Conference

- ・MEGURI2040 Fully Autonomous Ship Program: 20 April (Conference Tower)
- ・International Conference: 21 April (Conference Tower)
- ・ClassNK Seminar: 20 April (Special Seminar Room)
- ・Panama Maritime Authority Seminar: 20 April (Special Seminar Room)
- ・National Maritime Research Institute Seminar: 21 April (Special Seminar Room)
- ・Japan Shipping Exchange Seminar: 20 April (Special Seminar Room)
- ・Ships and Marine Technology Seminar: 22 April (Special Seminar Room)
- ・SDGs Seminer by Japan Maritime Daily: 20 April (Event Stage)
- ・Ocean Development Seminar: 20 April (Event Stage)
- ・Sea Japan 2022 Women's Panel discussion: 21 April (Event Stage)
- ・Private Seminar: 22 April (Event Stage)
- ・Human Resources Development Seminar: 22 April (Event Stage)
- ・Norwegian Embassy Seminar: 21 April (Special Seminar Room)
- ・Exhibitor Presentation: 20-22 April (Exhibitor Presentation Room A/B)
- ・Exhibitor Online Presentation: 4-8 April (Online)

Venue Tokyo Big Sight, East Hall 5 & 6

Organiser Informa Markets Japan Co Ltd

Special Supporter The Nippon Foundation

Supporters Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, The Japanese Shipowners' Association, Japan Federation of Coastal Shipping Associations, The Shipbuilders' Association of Japan, The Cooperative Association of Japan Shipbuilders, Japan Ship Exporters' Association, The Japan Shipping Exchange, Inc., Japan Ship Machinery and Equipment Association, Japan Passengerboat Association, Japan Long Course Ferry Service Association, JETRO

Number of Attendees

20 April	5,518	Total 18,183 (20,226 in Sea Japan 2018)
21 April	6,365	
22 April	6,300	

Number of Exhibitors 350(Japan : 308, Overseas : 42)

Countries and Regions of Exhibitors

Japan, China, Cyprus, Denmark, Finland, Germany, Italy, Netherlands, Norway, Singapore, South Korea, Spain, Sweden, Switzerland, United Kingdom, USA

MEGURI2040 Fully Autonomous Ship Program Results Report Meeting

Online Attendees 661 (18 countries and regions)

Exhibitor Information Page (from 28 March to 28 April)

Views 71,486

Pre/Post-show Webinar Report

Seminar 11 sessions **Viewers** 742